

顧客(お客さま)本位の業務運営の取組状況

キャピタル アセットマネジメント株式会社(以下、当社)は、2017年6月に、「顧客(お客さま)本位の業務運営」を実現する為に6つの方針を策定し、公表いたしました。公表以降1年間における「顧客(お客さま)本位の業務運営」に関する取組状況をまとめましたので、お知らせいたします。より良い業務運営を実現する為に、今後も、当該方針に係る取組み状況を定期的に公表致します。

方針1:お客さまへの最善の利益の追求

1. 当社は、お客さまの長期的な資産形成の目的の為に、最善の運用成果を追求し運営しております。当社ファンドの純資産総額加重平均期間収益率(分配金込み)は次の通りです。
(2019年6月末時点)

全公募ファンド 加重平均期間収益率

1年	3年	5年
-11.0%	30.6%	22.9%

内 外国株ファンド 加重平均期間収益率

1年	3年	5年
-11.0%	30.9%	23.7%

内 日本株ファンド 加重平均期間収益率

1年	3年	5年
-14.5%	1.3%	-3.3%

内 外国債券ファンド 加重平均期間収益率

1年	3年	5年
-1.2%	4.7%	7.1%

2. 少額ファンドの償還をいたしました。

5件の外国債券ファンドにつき、純資産金額が少額の為、当初の運用方針の維持や運用の継続が極めて困難になったことから、早期に投資資金の資金回収を行なうことが受益者の利益になるものと判断し、書面決議の手続きを経て、受益者の同意を確認後、償還を実施いたしました。

方針2:利益相反の適切な管理

1. 当社は、「利益相反管理方針」に基づき、利益相反の恐れのある取引について特定・類型化し、利益相反の管理方法、利益相反管理体制、利益相反管理の対象となるグループ会社の範囲を定め、お客さまの利益を不当に害することがないように利益相反を適切に管理しており、6 月末以前1年間、特に該当する取引はございませんでした。
2. 2018 年 10 月 1 日より、株式移転により「キャピタル フィナンシャルホールディングス株式会社」が完全親会社となり、それまで親会社であった「キャピタル・パートナーズ証券株式会社」からは独立して経営しております。

方針3:信託報酬等及びファンドの諸費用等のお客さまに分かりやすい説明

1. 当社は、2017 年 10 月よりホームページ上で、信託報酬(運用に掛かる手数料)及び投資信託に掛かる諸費用等をわかりやすく説明しております。

方針4:お客さまに重要な情報提供

1. ベトナム向け投資についてより理解を深めていただくために、2018 年 10 月 23 日に「ベトナム投資セミナー ～今だからこそベトナム～」、2019 年 3 月 19 日に「ベトナム投資セミナー ベトナム経済とベトナム株式市場の見通しについて」を開催いたしました。そして、その講演録について 2018 年 12 月と 2019 年 4 月に各々ホームページに公開いたしました。
2. さらに、2018 年 9 月 12 日、2019 年 2 月 20 日および 2019 年 6 月 26 日の三回、東京メトロポリタンテレビジョン(MX)の東京マーケットワイド STOCK VOICE に、当社の主力ファンドであるベトナム成長株インカムファンドの担当ファンドマネージャーが出演し、ベトナム株投資について説明いたしました。また、その動画をホームページに公開しました。
3. 2019 年 4 月より、ベトナムを中心としたアセアン最新経済情報や業界情報等についての調査部作成レポートのホームページ掲載頻度を高め、情報提供の充実化を図りました。
ベトナムレポート:16 件、 フィリピンレポート:3 件、 インドネシアレポート:1 件

方針5:お客さまにふさわしいサービスの提供

1. 当社は調査体制を強化し、販売会社や受益者向けに、ベトナムを中心としたアセアン関連の有益な情報提供に努めました。

2019年6月末までの1年間に、販売用資料、補足説明資料、調査レポート等の作成・改訂数は合計45件(前年は34件)でした。(継続的に数字等の更新のみの資料については加算せず)

また、勉強会やセミナーについても、販売会社等向け勉強会29回、大規模セミナー2回、TV放映3回の合計34回実施いたしました。

方針6:ガバナンス体制の整備と社員の意識向上を継続

1. 当社役職員のコンプライアンス意識向上目的で、2018年9月、2019年3月に2回社内研修を開催いたしました。

以 上